

平成21年度 第1回ようこそ考古学
古代の食

(財) かながわ考古学財団 相良英樹

◆古代の文献からの復元

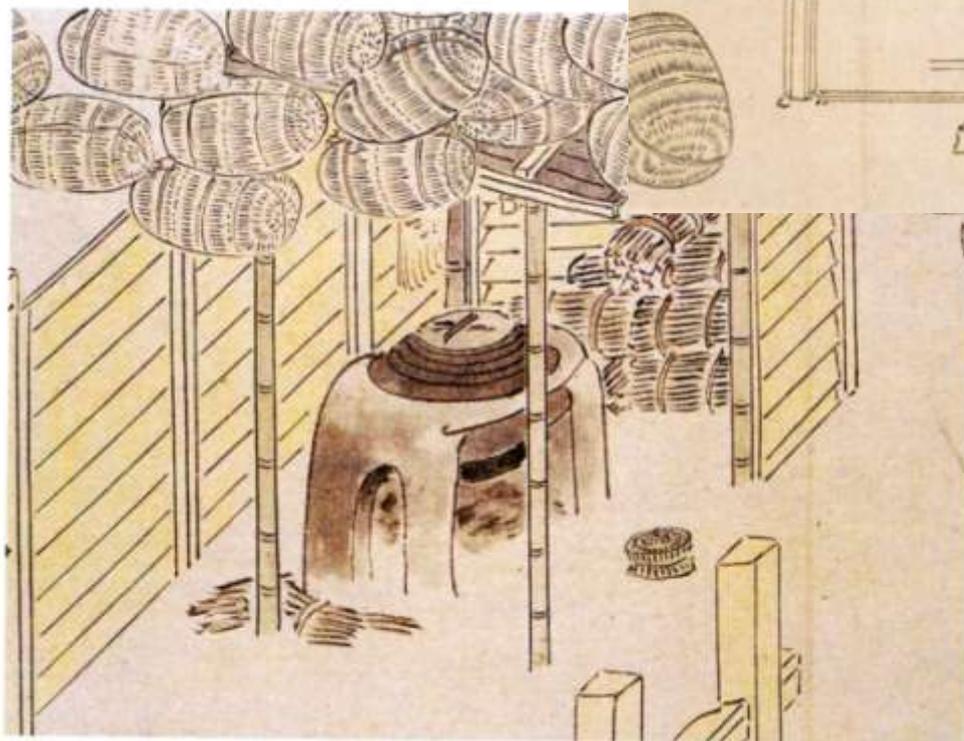
『風土記』
 『延喜式』
 『正倉院文書』
 『和名類聚抄』等



- 地域の特産物
- 栽培植物の詳細
- 大陸から粉食の導入
- 油を使った調理方法
- 発酵食品の発達



絵巻物に見られる台所等



カマド小屋(信貴山縁起模写より) (原資料)平安時代末期

『台所の考古学』2003より

◆器（遺物）からの食生活の推定

奈良・平安時代

食事風習：大陸からの影響

- 土師器 須恵器
古墳時代以来の食器
- 木器の使用
まな板「切板」・箸等
- 曲物の容器も普及
平安時代の文献『和名類聚抄』では木器として甗が記される



平城京・藤原京出土土師器・須恵器



平安京出土木製品

『台所の考古学』2003より



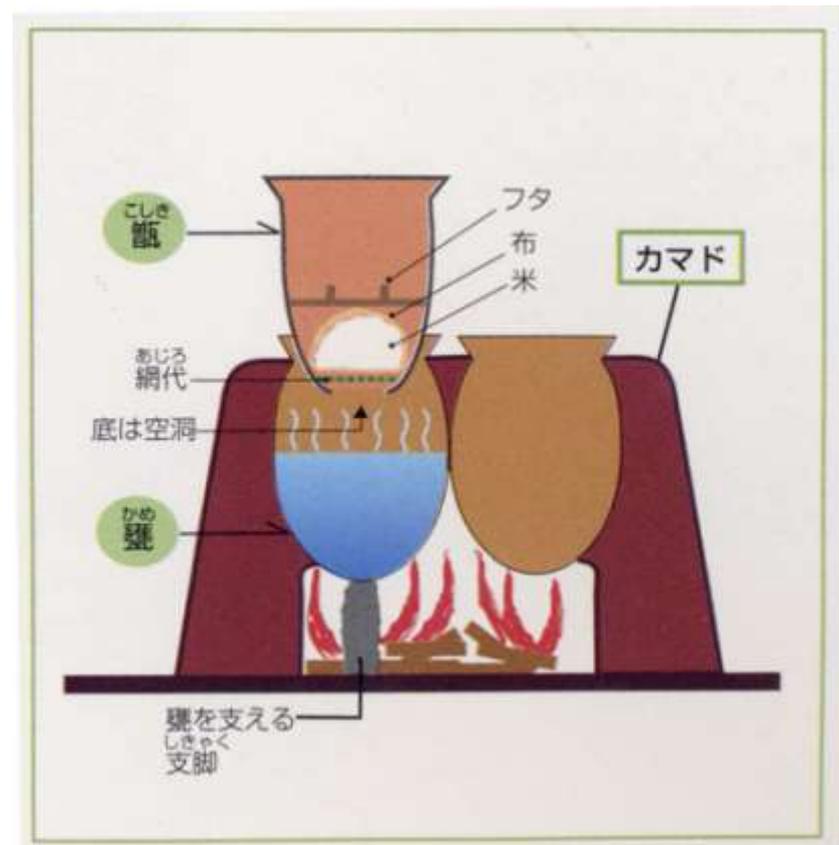
平城京出土木製品

◆施設（遺構）からの食生活の推定

調理施設としてのカマド
「置きカマド」「造りつけカマド」

7・8世紀の畿内
甑で蒸して食べる「おこわ」から釜・
鍋での調理方法への変化

7・8世紀の東国
土製の蒸し器での調理方法が続く





「造りつけカマド」例



「置きカマド」例

◆調理された「食べ物」の出土

炭化した食物から調理法や内容物を知ることが出来る。

奈良・平安時代

- ・ 律令制下、米以外の穀物も栽培奨励
- ・ 時期により奨励される穀物の種類が微妙に変化



湘南新道関連遺跡出土炭化種子

	年、月	内 容	出典
A	持統朝	官物を割り取り天下に 麦 を播殖することを命ずる(F・K官符に引用)	『三代格』
B	715(霊亀1).10.乙卯詔	男夫一人につき二段分の地に 麦禾 を兼種させること、かつ粟を輸して稲に転ずることを許す	『統紀』
C	719(養老3).9.丁丑詔	民戸に陸田を一町以上二十町以下を班給し、かつ地子として粟を段別に三升徴取する	『統紀』
D	722(養老6).閏4.乙丑官奏	百姓の私功によって荒野閑地の開発をはかり、雑穀の収穫量に応じて叙勲や課役免除などの酬賞を授ける	『統紀』
E	722(養老6).7.戊子詔	国司の百姓に対する勸課を通して 晩禾・蕎麦・大小麦 の種樹を奨励する	『統紀』
F	723(養老7).8.28官符	大小麦 の耕種が全国に強要され、国司に対して耕種面積と収穫量を計帳使に附して申上させる	『三代格』
G	729(天平1).11.癸巳官奏	阿波・山背両国には水田に陸田を混ぜて班給する	『統紀』
H	766(天平神護2).9.15格	大小麦 を耕種する施策を徹底させるため国郡司の恪勤者各一人を選んで専当させ、それを朝集使に附して申上させる(I官符に引用)	『三代格』
I	820(弘仁11).7.9官符	大小麦 を八月より播種させ、時を失うことのないようにさせる	『三代格』
J	839(承和6).7.21官符	蕎麦の播種を勸課し、国司の介以上一人に専当させ巡検を加える	『三代格』
K	840(承和7).5.2官符	黍・稷・薺・麦・ 大小豆 及び胡麻の類を陸田に播種させ、 據 以上一人に専当させるが、水田を陸田に変えることは許さない	『三代格』

文字資料の出土

木簡や墨書土器に食に関する記述が見られる。



鼓の木簡

- | | |
|---------------------------|----------|
| ① 武蔵国男衾郡余戸里大贄鼓一斗 天平十八年十一月 | 平城宮 |
| ② ・武蔵国秩父郡大贄鼓一斗
・天平十七年 | 平城宮 |
| ③ 鼓三籠 | 平城宮 |
| ④ 相模国鼓一斗□升[] | 平城京二条大路 |
| ⑤ 相模国鼓二斗 | 平城宮 |
| ⑥ ・甘草一両 鼓一升
・桂心二両□ | 藤原京 |
| ⑦ 武蔵国鼓一斗 | 平城京二条大路 |
| ⑧ 相模国鼓二斗 | 平城京二条大路 |
| ⑨ 武蔵国鼓二斗 | 平城京二条大路 |
| ⑩ ・武蔵国鼓一斗
・五升 | 平城京二条大路 |
| ⑪]蔵国鼓四斗 | 平城京二条大路 |
| ⑫ ・ □病齋下甚寒
・薬師等酒食教鼓酒 | 飛鳥京跡苑池遺構 |

平塚市大会原遺跡「旧鼓一」の墨書土器 →国衙工房

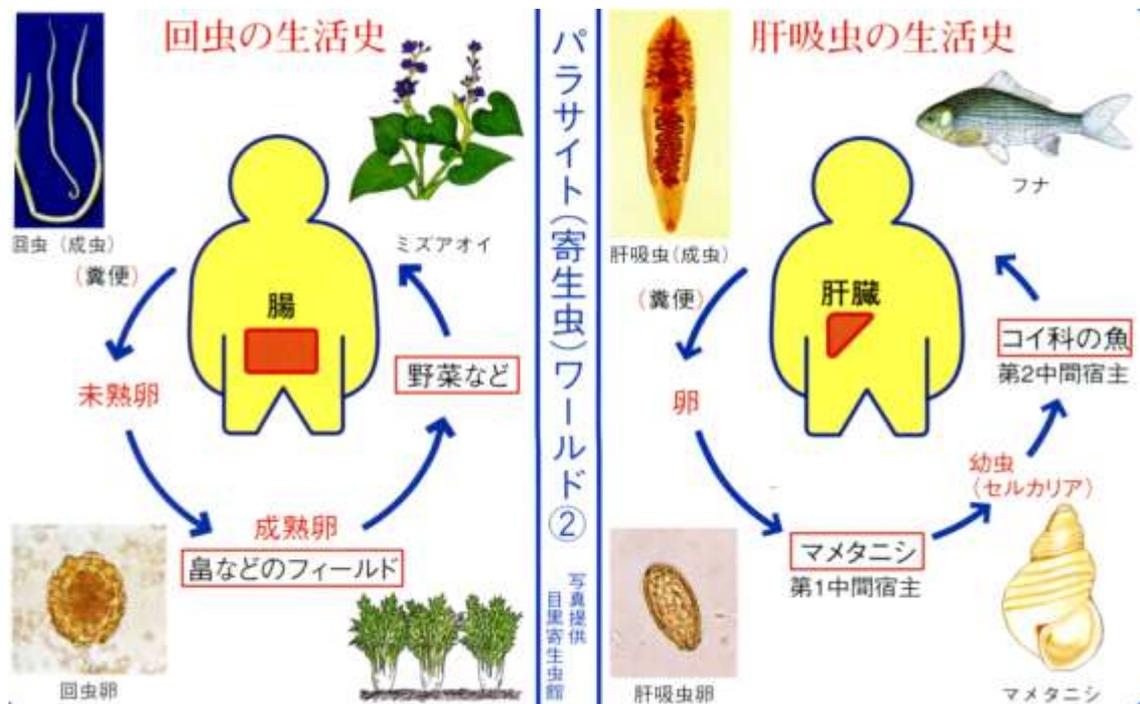
『相模の古代を学ぶ』2008考古学ゼミナール資料より

鼓とは相模・武蔵の特産品で、大豆・海藻を使った発酵食品と考えられている。

土壌分析からの食生活の復元

寄生虫卵からの推定

寄生虫は厳密に宿主・中間宿主を選ぶため、何を食べて感染したかある程度分かる。



回虫・鞭虫
生野菜

有・無鉤条虫
ウシ・ブタ

肝吸虫
コイ科の魚(クチボソ・モロコ・タナゴ・フナ等)

横川吸虫
アユ・シラウオ等

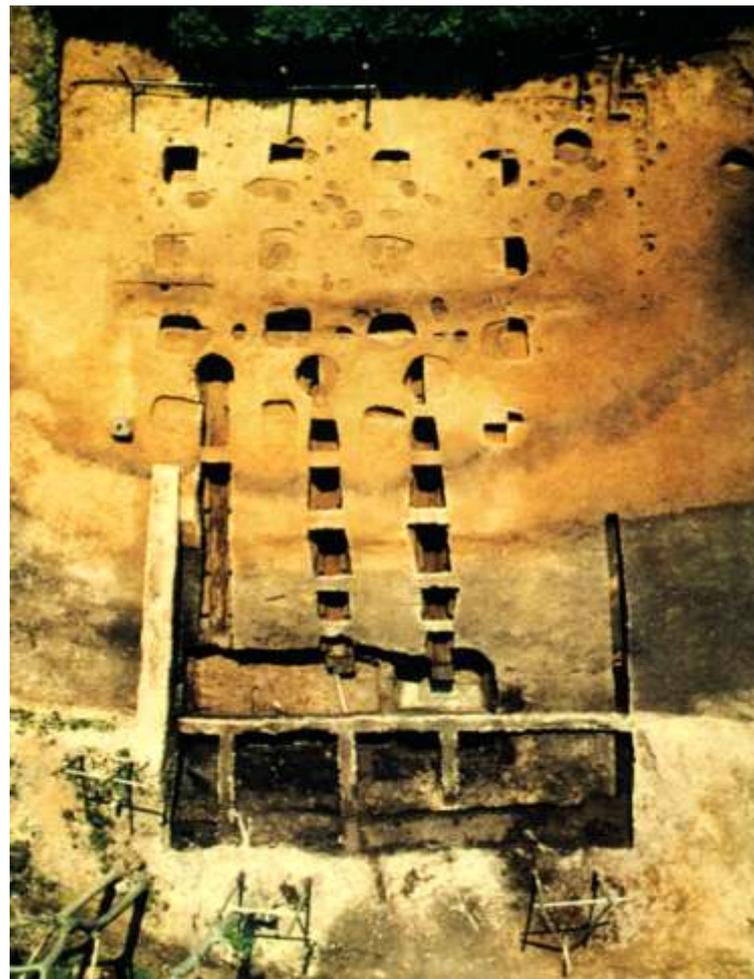
肺吸虫
沢カニ

日本海裂頭条虫
サケ・マス

マンソン裂頭条虫
イヌ



鴻臚館 トイレ状遺構



秋田城 トイレ状遺構



1 回虫卵



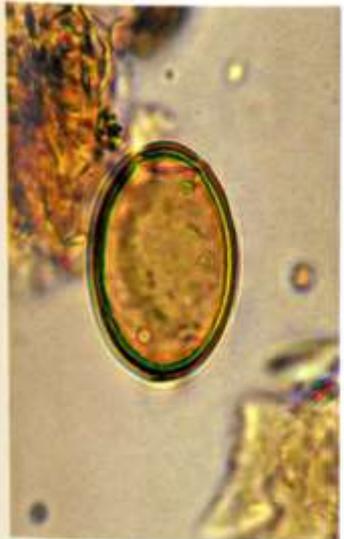
2 鞭虫卵



3 有・無鉤条虫卵



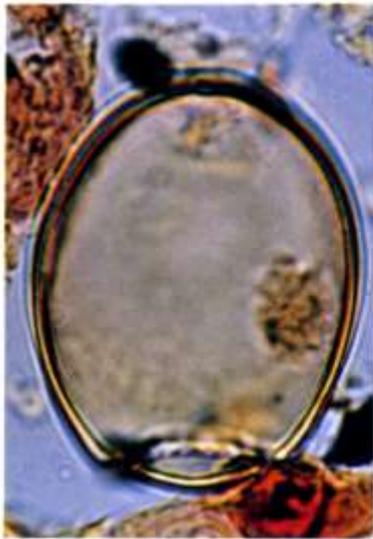
4 肝吸虫卵



5 横川吸虫卵



6 肺吸虫卵

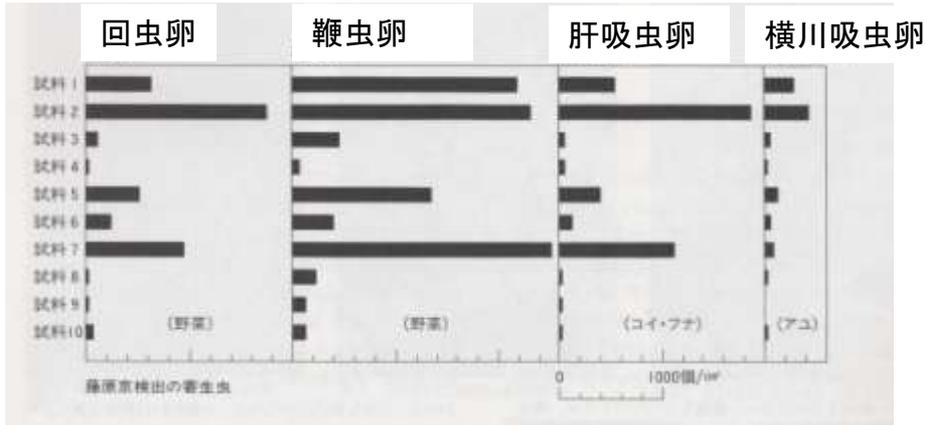


7 日本海裂頭条虫卵

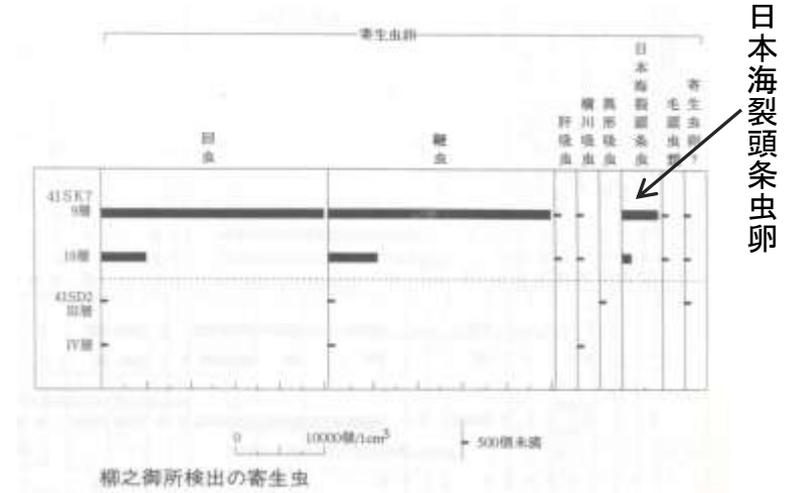


8 トビウオの吸虫卵

藤原京 (右京七条一坊)

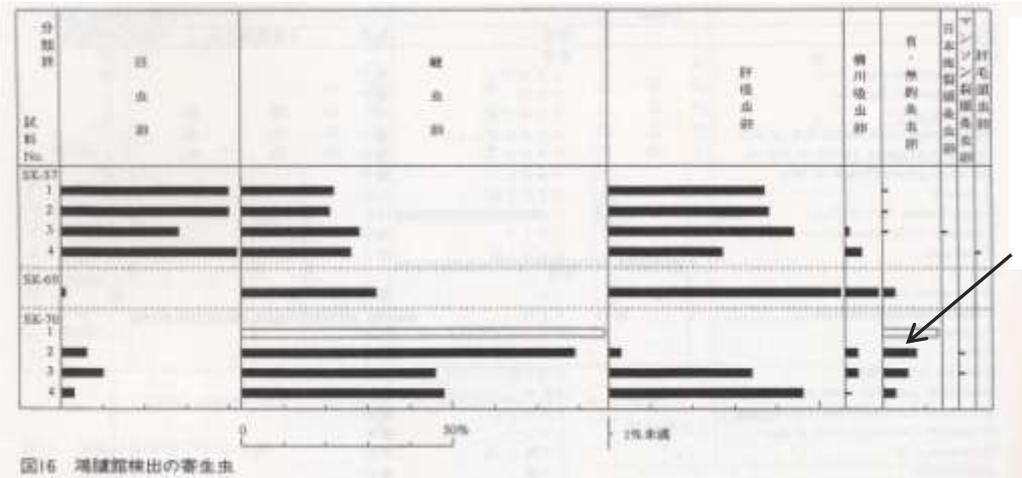


平泉 柳之御所



日本海裂頭条虫卵

鴻臚館



有・無鉤条虫卵

秋田城跡



『トイレの考古学』1997より